



第1分科会 (ジェンダー平等)

すべての人が輝くジェンダー平等の社会へ
～途切れない支援と働きかけを共に～

日本のジェンダーギャップ解消や女性技術者の活躍に向け、産官学のあらゆる組織で取り組むべき課題があります。女性が技術者を目指し、キャリアを重ね、組織の要職として当たり前活躍できる社会を目指し、本分科会の論点を「幼少期から男女の隔てなく、科学技術分野への関心を高める教育、そのための周囲の理解・働きかけ、職場での育成・登用など、あらゆる組織での途切れない支援と働きかけ」とします。

本分科会が、科学技術分野でのジェンダー平等の現状や課題、先進的な解決策を共有し、参加者が次のアクションに繋げる一助となれば幸いです。

【プログラム】

開会挨拶・開催趣旨説明		13:30～13:40
基調講演	林伴子氏 内閣府男女共同参画局長「我が国の女性活躍の現状と課題について」	13:40～14:20
講演	原田敬美氏 (株)SEC計画事務所長「世界のジェンダー平等と日本～世界に追い付くには」 今岡春樹氏 奈良女子大学長「女子大学初の工学部設置の目指すもの」 岡田久美子氏 旭建設(株)部長「ダイバーシティ経営の実践～地方の中小企業の取り組み」	14:25～15:15
グループディスカッション	(4つの講演を聞いて印象に残ったこと、これからやってみようことを4～5名のグループに分かれてディスカッション)	15:15～15:55
質疑応答		16:05～16:25
分科会総括・閉会		16:25～16:30
交流会 (ご都合のつく方は残っていただき、ジェンダー平等の推進に向けて意見交換)		16:30～17:00

2021/11/25(木) 13:30～16:30

開催形式：WEB会議 (Teams)

【詳細・申込み】以下の日本技術士会全国大会専用ウェブサイトから
https://www.engineer.or.jp/c_topics/007/007317.html

(QRコードからもアクセスできます)



後援：男女共同参画学協会連絡会



公益社団法人日本技術士会の男女共同参画

「技術士とは？」

- 技術士は、科学技術に関するほぼ全ての分野（21の技術部門）をカバーする**国家資格**です。
- 通算で95,072人が技術士の資格を取得し、そのうち**女性は2,008人（約2.1%）**です。
- 国際的にも技術士=Professional Engineer (PE.jp)として信頼される資格です。
- 研究者には『博士』の取得が必須であるように、実務の場で働く技術者には技術士の取得が必須です。
- 公益社団法人日本技術士会の会員数は **18,954人**、そのうち**女性は517人（約2.7%）**です。
(2021年3月末)

技術士の部門別登録者数（2021年3月末）

登録数計	総数		実人数計	総数		女性技術士 2.1%(実人数)
	総数	内女性		総数	内女性	
	115,353	2,418		95,072	2,008	
部門	部門総数	内女性	部門	部門総数	内女性	
1 機械	6,273	37	11 衛生工学	3,302	55	
2 船舶・海洋	217	1	12 農業	5,194	130	
3 航空・宇宙	242	5	13 森林	1,554	54	
4 電気電子	6,111	15	14 水産	768	22	
5 化学	1,697	18	15 経営工学	2,027	18	
6 繊維	803	16	16 情報工学	2,283	49	
7 金属	1,512	16	17 応用理学	4,592	95	
8 資源工学	488	5	18 生物工学	323	32	
9 建設	52,214	1166	19 環境	2,138	255	
10 上下水道	7,416	178	20 原子力・放射線	542	6	
			21 総合技術監理	15,657	245	

※部門数値は複数登録含む

日本技術士会の男女共同参画活動

- 2011年 男女共同参画推進委員会設立
- 2013年 第40回技術士全国大会(札幌)で初めて「男女共同参画」に関する分科会を開催(北海道本部主催)
- 2014年 ICWES16(第16回国際女性技術者科学者会議 LA)に参加
- 2015年 第42回技術士全国大会(富山)で委員会がポスター展示、会員女性との交流
- 2015年 世界工学会議(WECC2015 京都)にポスター参画
- 2016年 第43回技術士全国大会(横浜)で男女共同参画推進委員会が分科会「男女共同参画」を企画・運営
- 2017年 第44回技術士全国大会(山口)でランチミーティング(中国本部協力)
- 2017年 ジェンダーサミット(東京)10参加
- 2018年 第45回技術士全国大会(福島)で分科会開催(東北本部主催)
- 2019年 第46回技術士全国大会(徳島)で分科会(四国本部主催)、委員会は男女共同参画推進連絡会議主催

—女性技術者育成への提言 Ver.2—

2019.9

1. 教育機関においては、**女性の職域の多様性を紹介**することが重要である。
2. 女性は結婚、出産等のイベント年齢をあらかじめ特定できないため、一律ではなく**個人に即したロードマップが有効**である。
3. 女性の力を最大限伸ばすためには、**所属長や先輩は、良き理解者・相談相手となるべき**である。
4. **女性の指導的地位を確立し、指導的立場の女性の増加に向けたロードマップが必要**である。
5. **業種・業界の枠を超えた取り組みが必要**であり、多くのロールモデルや導入した制度などの**情報を共有し、幅広い活動を展開、社会全体で意識を醸成**すべきである。

(男女共同参画推進委員会発信)

男女共同参画推進委員会の活動

- **女子学生・女性技術者支援**
○技術サロンの開催：教育機関（大学、高専等）の技術者をめざす女子学生たち、若手女性技術者に向けた懇話会を定期的に開催(年4回程度、2021.9月度は第51回の技術サロンを実施)
○「技術サロン報告書—いま、そして、みらいの女性技術者が輝くために技術サロンからの提言—」、「新Q&A集」、「キャリアモデル集-あなたも技術のプロフェッショナルになりませんか?」などの冊子の発行
○委員会Webサイトにてキャリアモデルの紹介



- **ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)**
技術士会でD&Iに取り組むため、学習会やフォーラムを開催
○ **D&Iフォーラム・学習会**



2020年度は「ダイバーシティ2.0～多様性を活用できる組織こそが生き残る時代へ～」と称してリモート開催
○委員会Webサイトにて技術士会のイクボス、イクメン紹介
http://www.engineer.or.jp/c_cmt/danjyo